

哲学・思想論集

第44号

平成30年度

筑波大学 哲学・思想専攻

目次

数学的図形における真理と虚偽……………	橋本康二……………	一
B・ロナガンの「歴史」理解からみた「倫理的であること」のダイナミズム……………	島村絵里子……………	三六
Indigenous Religion Paradigm: Re-interpreting Religious Practices of Indigenous People ……	Samsul MAARIF ……	五六
「共感的反感」とは何か ——セーレン・キルケゴール『不安の概念』における心理学的表現に関する一考察——……………	平林孝裕……………	七四
The relation of perception and action based on a heterarchy of final purposes……………	Patrick GRÜNBERG……………	七七
西洋中世から近世までのキリスト教的瞑想 ——信心 <i>devotio</i> と観想 <i>contemplatio</i> のはなれか——……………	セドリック・ジロー 望月ゆか・津崎良典(訳・解題)……………	一〇八
バフチンの対話／対話としての詩学 ——オープンダイアローグ (Open Dialogue) の背景にあるもの——……………	五十嵐沙千子……………	一二六
トラシユマコスの呪縛 ——「正解」信仰の深層——……………	檜垣良成……………	一四〇
神の世界内在と恩恵 ——トマス・アキナス恩恵論の全体像——……………	桑原直己……………	一五八

『哲学・思想論集』投稿・編集規定

1. 本誌は、筑波大学人文社会科学研究科哲学・思想専攻の研究論集として、毎年度一回発行する。
2. 本誌は、先行研究を尊重し、研究倫理にかなった、学術的に優れた論文を掲載する。
3. 本誌に投稿資格を有する者は、原則として本専攻の構成員とする。
4. 投稿論文は、その内容が他誌に掲載ないし投稿されておらず、剽窃、データの捏造、改ざん、個人情報の不当な扱い等を含んでいないものとする。
5. 本誌は、哲学・思想に関する論文で、(必要に応じて専攻外の研究者を含む) 2名以上の査読者による査読をへて編集委員会において採用が決定されたものを掲載する。
6. 編集委員会は、哲学・思想専攻長、編集委員3名(うち1名を編集委員長とする)によって構成する。
7. 査読者は編集委員会が指名する。
8. 投稿者は、採否決定について不服がある場合、編集委員会に申し立てができる。その際、編集委員会が新たな査読者に査読を依頼し、審査を行った上で最終的に採否を決定する。
9. 採用された論文は、つくばリポジトリで Web 公開される。

哲学・思想専攻構成員一覧(平成31年2月現在)

五十嵐沙千子	井川 義次	伊藤 益	小野 基	鬼界 彰夫
木村 武史	桑原 直己	○佐久間秀範	志田 泰盛	○千葉 建
津崎 良典	土井 裕人	橋本 康二	◎檜垣 良成	保呂 篤彦
山中 弘	吉水千鶴子			

[五十音順：◎編集委員長 ○編集委員]

編集	『哲学・思想論集』編集委員会
発行	〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学人文社会科学研究科哲学・思想専攻

印刷	佐藤印刷株式会社
	平成31年3月21日 印刷
	平成31年3月28日 発行
	(非売品)

STUDIES IN PHILOSOPHY

No. 44

2018

INSTITUTE OF PHILOSOPHY
UNIVERSITY OF TSUKUBA

CONTENTS

Naoki KUWABARA : “Grace” and the God’s immanence in the world —— Full survey of the Thomas Aquinas’ theory on the grace ——	1
Yoshishige HIGAKI : The spell of Thrasymachos —— The cult of a “correct answer” ——	19
Sachiko IGARASHI : Bakhtin’s dialogue / Poetics as a dialogue —— The background of Open Dialogue ——	33
Cédric GIRAUD : <i>La méditation du Moyen Âge à l’époque moderne :</i> <i>entre devotio et contemplatio</i> (traduction japonaise et introduction par Yuka MOCHIZUKI et Yoshinori TSUZAKI)	51
Patrick GRÜNEBERG : The relation of perception and action based on a heterarchy of final purposes	77
Takahiro HIRABAYASHI : What Is “Sympathetic Antipathy” in Kierkegaard’s <i>The Concept of Anxiety?</i> On the Historical Background of His Psychological Terms	85
Samsul MAARIF : Indigenous Religion Paradigm: Re-interpreting Religious Practices of Indigenous People	103
Eriko SHIMAMURA : Dynamism of Being Ethical In Terms of B. Lonergan’s Understanding of Historicity	123
Kouji HASHIMOTO : Truth and Falsehood in Mathematical Diagrams	158